

DIR 機能搭載

iVAS[®]
iVAS[®]
iVAS[®]

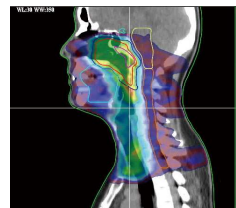
iTEM' s Viewer & planning Assistant System

VERSION_II

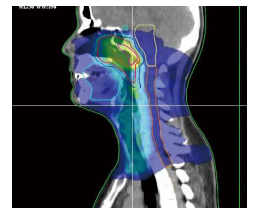
iVAS[®]の主な機能

- 高精度RT-Viewer
- Deformable Image Registration(DIR)を用いた
合算線量の評価
- モダリティ間での画像変形
- DIRを用いた最大吸気と最大呼吸画像からの
変化量の作成
- 輪郭出力支援機能
- DIR合算線量の出力
- DIR変形後のCT画像の出力
- NEW** ■様々な治療計画ソフトウェアと連携
- NEW** ■DICOM QR機能搭載

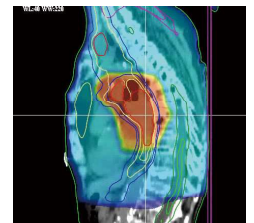
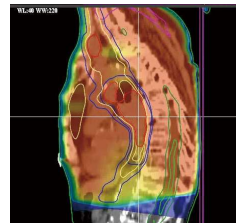
DIR 変形前



DIR 変形後



頭
頸
部



肺

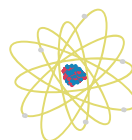
頭頸部、肺、前立腺の三部位、または任意の部位それぞれに対し、三種類の变形精度 (High, Middle, Low) の任意のパラメータを選択し最適な DIR を行うことができます。



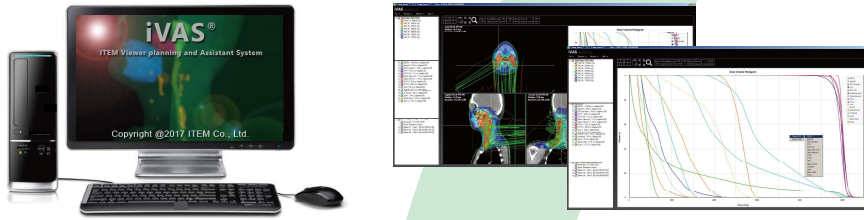
www.item-corp.jp



TEL: 06-6690-2615 (代表) FAX: 06-6690-2605
月一金 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
Email: info@item-corp.jp

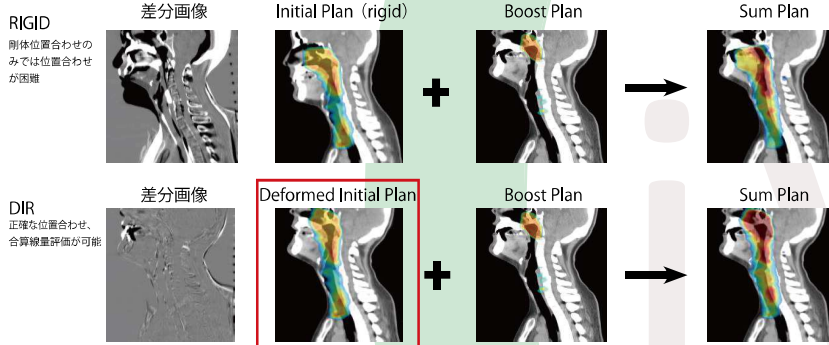


ITEM Corporation



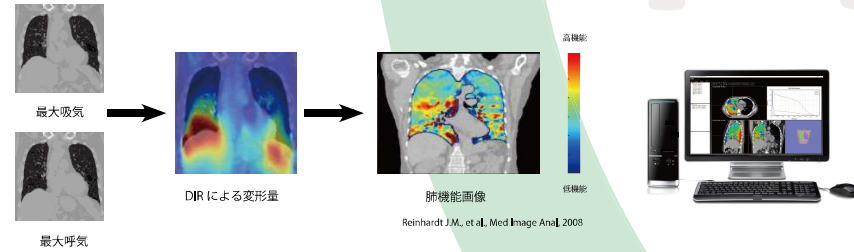
■RT-Viewer

全ての治療計画装置からの線量分布、輪郭を表示できます。3Dグラフィック、Dose Volume Histogram (DVH)も表示可能です。



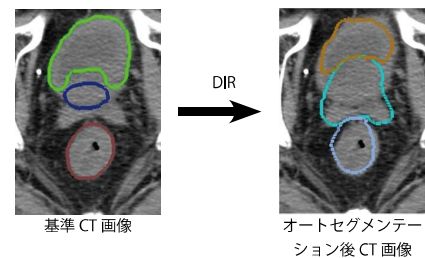
■DIRを用いた治療計画支援

B-splineアルゴリズムを用いた高度なDIRを実現しました。



■肺機能の変化量のイメージ機能作成

DIRの合算線量分布を用い、肺の各ボクセルの体積変化を算出することにより、肺機能の評価を行うことが可能です。



■輪郭出力支援機能

(オートセグメンテーション)

Deformable Image Registration (非剛体位置合わせ、DIR) による変形量を輪郭に適応することでオートセグメンテーションを行うことが可能です。

■DIR合算線量の出力

DIRを用いた合算線量の画像はDICOM形式での出力が可能です。

■DIR変形後のCT画像の出力

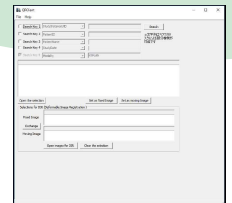
変形後の画像、肺機能変化量画像などをDICOM形式にて出力が可能です。

■Multi-Modality Image Registration (モダリティ画像レジストレーション)

CT-CT間、CT-MRI間の画像変形を行うことが可能です。

■様々な治療計画ソフトウェアと連携

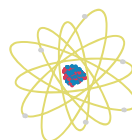
■DICOM QR機能搭載



☎お問い合わせ先:



TEL: 06-6690-2615 (代表) FAX: 06-6690-2605
月一金 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
Email: info@item-corp.jp



ITEM Corporation